

Iprova（イプローバ）包括的調査レポート

会社概要

Iprova（社名: Iprova SA）は、**世界初のデータ駆動型発明企業**を標榜するスイスのスタートアップです¹。**2010年にスイス・ローザンヌで創業**され（法人登記日: 2010年7月20日）²、創業者兼CEOはジュリアン・ノーラン（Julian Nolan）氏です³。本社所在地はローザンヌのEPFLイノベーションパーク内にあり⁴、英国ロンドンおよびケンブリッジにもオフィスを構えグローバルな顧客基盤を支えています⁵。ノーラン氏は「2025年までに世界の発明の50%以上がデータ駆動型手法で生み出される」と展望するなど、発明プロセスの変革に情熱を注いでいます⁶。経営陣にはノーランCEOのほか、チーフサイエンティスト（CSO）のニコラス・ウォーカー博士やチーフインベンションオフィサー（発明責任者）のクリス・ライト博士など、発明創出やAI分野の専門家が名を連ねています。Iprovaは創業以来、高度なAI技術を駆使して**発明の創出プロセスを迅速かつ効率的に**することをミッションとして掲げており⁷、その成果として同社技術を用いて生み出された発明に基づく特許出願は累計1,500件を超えています⁸。2013年にはスイスの有望スタートアップ上位100社に選出され、Swisscom StartUp Challenge優勝やCTI Start-up認定を獲得するなど、創業当初から各種アワードや支援プログラムで評価されています⁹。

技術概要

Iprovaのコア技術は、AI（機械学習・自然言語処理）を用いたデータ駆動型の発明創出プラットフォームです¹⁰。膨大な量のデータや文献情報をリアルタイムで収集・解析し、その中から「発明のタネ」となる有用な変化や組み合わせ（インベンティブ・シグナル）を発見します¹¹。具体的には、特許文献、学術論文、業界ニュース、ソーシャルメディアなど**世界中の最新情報を機械的にふるいにかけ、従来結び付かなかった異分野のアイデア同士を関連付けて新しい発明のヒントを提案**するよう設計されています¹²。例えば、IprovaのAIはリチウムイオン電池のランダムな劣化特性と暗号技術を結び付けて「**電池の劣化を利用してデバイスごとにユニークな暗号鍵を生成する**」という**発明アイデアを創出し、モバイル機器のセキュリティ向上につなげた実績**があります¹³。このようにIprovaの技術は、一見無関係な技術領域同士の知見を架橋し、新規性と価値の高い発明の着想を得る点に強みがあります。発明の最終的な創出には人間の発明家の創意も不可欠ですが、AIが発明の材料となる知見や方向性を提示することで、試行錯誤に要する時間を大幅に短縮し人間の創造性を強力に増強します¹⁴。Iprova自身、このデータ駆動型発明手法に関する技術で特許を取得しており（AI支援による発明方法の特許）¹⁵、約10年以上にわたる研究開発で培った独自アルゴリズムとノウハウを有しています¹⁶。その結果、発明創出を**従来の属人的なインスピレーション頼みから、再現性の高いデジタルプロセスへと変革**し、「速く（Speed）」「広範に（Disruption）」「機敏に（Agility）」「確実に（Reliability）」発明できるプラットフォームを実現しています¹⁷¹⁸。

プロダクト・サービス

Iprovaは自社のAI技術を活用し、企業向けに以下の主要なプロダクト・サービスを提供しています。

- **Invention Studio（インベンション・スタジオ）**：Iprovaが開発したクラウドベースの発明支援ソフトウェアプラットフォームです。社内の研究開発者や発明家がこのツールを使うことで、効率的にアイデアを捕捉・創出・洗練できます。最新バージョンの**Invention Studio 3**では、リアルタイムの高度な発明領域モデリング機能や、ユーザーのニーズに応じてAI支援レベルを可変に調整できる機能を搭載しており¹⁹²⁰、発明ターゲット領域における重要な変化を検知して新製品の機能発明や特許回避策、標準規格（例：5G/3GPP）向けの発明創出など幅広いユースケースに対応します²⁰。ユー

ザーは有望な発明分野を見極めてアイデアを生成し、リアルタイムで先行技術調査（Prior Art）や技術成熟度、競合状況のフィードバックを得ながら発明を洗練できます^{21 22}。こうした機能により、発明が可能になった瞬間から実際に創出されるまでのタイムラグを最小化し、価値の高い発明の市場投入までの時間を短縮します²³。

・**発明創出サービス（Invention Campaign）**：Iprova社内のプロフェッショナル発明家チームがクライアント企業のために発明アイデアを次々と生み出して提案するサービスです。まずIprovaが顧客と協力して発明ターゲット領域を選定し、その領域に対する高価値な発明テーマを設定します²⁴。その上で数週間単位の「発明キャンペーン」を実施し、**2週間ごとに複数の発明アイデアの提案**を行います²⁵。提案は対面またはオンライン会議で提示され、クライアントは各提案を採用するか否か自由に選択可能です²⁵。特徴的なのは**成果報酬型（パトリ・コンティンジェント）**の料金モデルを採用している点で、提案した中から採用された発明に基づきフィーが発生する仕組みとなっており、Iprova側もクライアントにとって価値の高い発明を生み出すことに強くインセンティブ付けされています^{25 26}。このサービスにより、**社内に専門の発明チームを持たない企業でも短期間で次々と特許出願可能なアイデアを獲得**できるメリットがあります。

・**データ駆動型発明ラボ構築（In-house DDI Lab）**：Iprovaの技術とノウハウを企業内に導入するソリューションです。Iprovaの発明支援ソフトウェア（Invention Studio）に加え、発明プロセスの手法やトレーニング、運用サポートまで含めた「**発明ラボ**」パッケージを提供します²⁷。これによりクライアント企業は**自社内にデータ駆動型の発明専門チーム（ラボ）を立ち上げ**、既存のイノベーション活動を補完・強化することが可能です^{27 28}。このラボでは、自社の重点分野において継続的に発明創出を行い、トップライン（売上）の成長につながる次世代製品・サービスを生み出すことが期待できます²⁸。実際の導入例として、フランスの筆記具・日用品大手BIC社は2020年に世界初の社内データ駆動型発明ラボ「BIC-Iprova Invention Lab」を開設し、Iprovaの技術を社内R&Dに取り入れています²⁹。このラボはIprovaとの2件のパイロットプロジェクト成功を経て設立されたもので、文具やカミソリ分野で**消費者ニーズに応える斬新な製品アイデア創出**に貢献しています^{30 31}。BICの事例は、伝統的メーカーが自社イノベーションプロセスを近代化する一環としてIprovaのデータ駆動発明を取り入れた好例と言えます。

導入実績・提携企業

Iprovaのソリューションは**多種多様な業界の大手企業に採用**されています。同社の顧客には、ソニー、フィリップス、ノキア、パナソニックといったエレクトロニクス・ICT分野のトップ企業³²をはじめ、プロクター・アンド・ギャンブル（P&G、消費財）やドイツテレコム（通信）¹²など国際的な企業が名を連ねています。Iprovaは**創出した発明を通じて世界の主要企業のイノベーションを支え**ており、その証拠に**世界最大のテック企業トップ10すべてが、Iprova由来の発明に基づく特許を引用**しているとも報告されています³³（例：Apple、Amazon、Google、Microsoft等が引用）³⁴。以下に主な導入・提携事例を挙げます。

導入企業・提携相手	導入内容・提携の概要
BIC（筆記具・消費財）	フランスの大手筆記具メーカーBICは、Iprovaの技術を活用して 社内発明ラボを設立 。文具やシェーバー分野で消費者ニーズを先取りする発明創出に成功し、同社のR&D能力強化に寄与 ^{29 35} 。IprovaのAIにより生み出された多数のアイデアから、BICは自社製品ラインの革新につながるものを選択し、 従来にない多様で破壊的な発明 を次々と創出している ³⁶ 。これは世界初の社内データ駆動型発明ラボ導入例となった。

導入企業・提携相手	導入内容・提携の概要
Lotus Engineering (自動車技術コンサル)	イギリスの自動車エンジニアリング企業Lotus Engineeringと 戦略的パートナーシップ を締結(2022年) ³⁷ 。両社は共同で「大きく発明し、素早く実装する(Invent big and implement fast)」とのコンセプトを掲げ、eスクーターから自動運転トラックに至るまで幅広いモビリティ分野で AI支援による発明創出と試作開発を一体化したサービス を提供しています ³⁷ ³⁸ 。Iprovaのデータ駆動型発明プラットフォームとLotusのエンジニアリング実績を組み合わせることで、輸送分野における革新的製品アイデアの創出から製品化までのスピード向上を目指しています。
パナソニック (エレクトロニクス)	パナソニックはIprovaの発明提案を活用した一例として、 自動運転車のアイドル時間を活用して宅配サービスを行う という斬新な発明コンセプトを採用し、特許出願に至りました ¹³ 。このアイデアは「乗客が乗っていない時間帯に自動運転車が荷物配送を代行する」というもので、新たなビジネスモデルの可能性を開く発明として評価されました。Iprovaのプラットフォームが 異業種の技術トレンドを結び付けて生み出した具体的成果の一つ です。
Clarivate社(知的財産マネジメント)	2025年3月、特許データ分析大手のClarivate社と 発明創出～特許出願プロセスの効率化に向けた提携 を発表しました ¹ 。Clarivateの特許管理ソフト「IPfolio」とIprovaの発明プラットフォームを統合し、Invention Studio上で生まれた発明提案をシームレスに特許出願ワークフローへ連携できるようにするものです ³⁹ 。この提携により、企業の知財部門は 発明の創出から特許管理まで一貫したプラットフォーム 上で行えるようになり、発明から知的資産化への時間短縮と協働性向上が期待されています。

資金調達と投資家

Iprovaは**スイス連邦政府のイノベーション助成**を受けて創業しました。設立当初、旧称CTI(連邦技術革新委員会、現Innosuisse)から資金提供を受けて会社設立に至り⁴、2013年には同機関のスタートアップ認定ラベル(CTI Start-up Label)も取得しています⁴。また2013年にはSwisscom(スイスコム)主催のスタートアップチャレンジで優勝し、Swisscom Venturesからの事業支援やシリコンバレー研修の機会を得ました⁴⁰。このSwisscom Venturesは現在までにIprovaの**数少ない外部出資元の一つ**となっており⁴¹、もう一つの出資元としてはスイスの起業支援組織Venturelab(ベンチャーラボ)系のシードマネーが挙げられます⁴¹。一方でIprovaはこれまで**大規模なベンチャー資金調達ラウンドは公表しておらず**、外部資本に頼りすぎない持続的な成長を志向しているようです。実際、同社は長年にわたり欧州の官民イノベーション助成プログラムや大企業との収益契約によって事業を拡大しており、「ブートストラップ型」(自己資金や事業収益を原資とした成長)のスタートアップとして知られています。また未上場の**プライベートカンパニー**であり⁴²、2025年8月現在までに明らかなIPO計画もありません。

最新動向

近年のIprovaは、**新製品・サービスの展開や業界パートナーとの協業を通じて事業を加速**させています。特に2024年以降の動きを中心に、最新動向と将来展望を以下にまとめます。

- ・**特許創出数の飛躍的増加**: 2024年9月、Iprovaは自社技術を用いて生み出された発明に基づく特許出願件数が累計1,500件を突破したと発表しました⁸。この10年で1000%以上の成長率を記録した計算となり、**同社プラットフォームが実際に数多くの価値ある発明を生み出してきたことを示すもの**です⁴³。ノーランCEOは「真のイノベーションとは新規性だけでなく有用性とインパクトを伴う発明をいかに先んじて生み出すかだ」と強調し⁴⁴、データ駆動型発明がクライアント企業の生産性向上において中核的役割を果たしているとコメントしています⁴⁵。

・**Invention Studio 3のリリース**: 2025年3月、最新版ソフトウェア「Invention Studio 3」を正式リリースしました¹⁹。このバージョンでは前述の通り高度なリアルタイムモデリングやAI支援度の可変機能が搭載されただけでなく、ユーザー企業の既存ワークフローとの統合が強化されています。実際、同リリースに合わせてClarivate社との提携により**特許管理システムIPfolioとのシームレス連携**が実現しており³⁹、発明のアイデア段階から特許出願準備まで一貫したプラットフォームを提供できるようになりました。ノーランCEOは「製品カテゴリのボーダーレス化が進む今日、競争優位を保つには高インパクトな発明創出がこれまで以上に重要だ。Iprovaは発明という営みを頑健で信頼できるプロセスに変え、企業の知的資産創出を支えている」と述べ⁴⁶、短いイノベーションサイクルに対応する「**スマートで効率的な発明手法**」としてInvention Studio 3を位置付けています。

・**大手企業との戦略提携拡大**: 前述のClarivateとの協業以外にも、Iprovaは近年**パートナーエコシステムの拡大**を進めています。2024年にはマイクロソフトとの共催でIMDビジネススクールにて「AI支援発明サミット」を開催し（2024 AI Assisted Invention Summit）、業界の有識者やクライアント企業を招いたイベントを通じて**AI×発明の最先端動向を発信**しました⁴⁷。また2025年には知財分野の著名ジャーナリストをアドバイザリーボードに迎え入れるなど⁴⁸、発明と知財戦略の双方に精通した人材とのネットワーク強化も図っています。さらにIprovaは各種ウェビナーや技術カンファレンスに積極的に参加・登壇し、自社のデータ駆動型発明アプローチの有用性をアピールしています⁴⁷⁴⁹。

・**将来展望**: Iprovaは今後、自社プラットフォームをより幅広い発明人材に使ってもらうことを目指しています。ノーランCEOは「発明の民主化」、すなわち**発明創出を一部の専門家だけでなく企業内の誰もが取り組める普遍的な活動にする**というビジョンを掲げており⁵⁰、Invention Studio 3の提供やパートナー連携を通じてその実現を図る構えです。「発明は勝者総取りの世界（‘Invention is a winner-takes-all activity’）」とも彼は述べており⁵¹、より多くの企業・技術者がデータ駆動型発明によって**競合に先んじたブレークスルー創出**をできるよう、製品機能の拡充やUX改善にも取り組んでいます。また技術面では、通信規格動向の自動追跡（標準化対応発明の支援）機能など高度化する技術環境への対応も進めており⁵²、常に発明領域の最前線で研究開発を続けています。総じて、**IprovaはAIとビッグデータを駆使した発明創造プラットフォームのバイオニア**として、知的財産創出プロセスの革新を牽引していると言えるでしょう。

2 3 5 7 8 1 10 12 13 14 17 18 20 25 26 27 29 35 32 12 33 34 36 37 38 43
44 46 39 40 4 41

-
- 1 50 Clarivate & Iprova Partner to Streamline Invention Process
<https://clarivate.com/news/clarivate-partners-with-iprova-to-streamline-the-invention-creation-and-submission-process/>
- 2 5 9 Iprova SA - Venturelab
<https://www.venturelab.swiss/iprova>
- 3 15 51 Iprova Offers AI-Powered Invention to Corporate Clients - IEEE Spectrum
<https://spectrum.ieee.org/ai-inventions>
- 4 34 42 Iprova Sarl - EverybodyWiki Bios & Wiki
https://en.everybodywiki.com/Iprova_Sarl
- 6 The people behind Iprova | Iprova
<https://www.iprova.com/who-we-are/>
- 7 11 48 Iprova | The world's first data-driven invention company
<https://www.iprova.com/>

8 43 44 45 47 49 AI invention tool sees patent surge | Iprova

<https://www.iprova.com/news/ai-invention-tool-sees-patent-surge/>

10 14 29 30 31 33 35 36 BIC and Iprova launch Invention Lab | Cambridge Network

<https://www.cambridgenetwork.co.uk/news/bic-and-iprova-launch-invention-lab>

12 13 52 AIによる発明：特許可能なイノベーションの未来

<https://www.coinlive.com/ja/news/ai-powered-invention-the-future-of-patentable-innovation>

16 17 18 24 25 26 27 28 Data-driven invention | Iprova

<https://www.iprova.com/what-we-do/>

19 20 21 22 23 39 46 Iprova unveils high-performance data-driven invention software release | Iprova

<https://www.iprova.com/news/iprova-unveils-high-performance-data-driven-invention-software-release/>

32 37 38 AI start-up Iprova to transform the transportation sector with Lotus Engineering - Greater Geneva Bern area

<https://ggba.swiss/en/ai-start-up-iprova-to-transform-the-transportation-sector-with-lotus-engineering/>

40 Iprova SA - startup.ch

<https://www.startup.ch/iprova>

41 Iprova - 2025 Company Profile, Team, Funding & Competitors - Tracxn

https://tracxn.com/d/companies/iprova/___ZUKqxuX8Qw-946cGI4q0U6ikzTNLe8Y7rj6J9Ma5hs